つばさっ子

2012年　12月号

今月の行事

1日（土）午前	9：00～11：00	うさぎ懇談会（給食試食会）
15日（土）午前	9：00～11：00	きりん・ぞう合同懇談会(給食試食会)
21日（金）午前	10：00～	お誕生日会
25日（火）午前	10：00～	クリスマス会
30日（日）		休園
31日（月）		休園（1月3日まで）

保育所入所継続申立書
（保育児童台帳）

熊取町長殿

保護者	住所	熊取町
	ふりがな 氏名	
	電話番号	自宅
		父携帯
		母携帯

熊取町への入所の継続につき次のとおりを申し立てます。　年　月　日

現在入所している保育所			
転居を希望する住宅所	第1希望	（希望理由）	
	第2希望	（希望理由）	
保育の実施を希望する期間	平成　年　月　日から　平成　年　月　日まで		

区分	氏名	入所児童との続柄	性別	年齢	生年月日	職業・勤務先等
入所児童	（ふりがな） 本人				平成　年　月　日	在園
入所児童の家族状況					M・T・S・H　・・	
					M・T・S・H　・・	
					M・T・S・H　・・	
					M・T・S・H　・・	
					M・T・S・H　・・	
					M・T・S・H　・・	
					M・T・S・H　・・	
					M・T・S・H　・・	

（注）兄弟姉妹のうち現在に入園申込しているものは「氏名」の右の欄に○印をつけてください。

（保育の実施を必要とする理由）

保育時間	平日 平成　時　分から　時　分まで	土曜	平成　時　分から　時　分まで

※　保育時間は、記入する必要はありません。

『保育所入所継続申立書』

入所理由証明及び申告書

（希望）保育所名　　（　歳児）
児童氏名　　（H　年　月　日生）
申告者氏名　　児童との続柄

※該当する種別欄と証明欄を記入し、証明印を必ず押すこと。記入欄外の箇所には訂正印を押すこと。

種別	内容		
外勤	就労(予定)年月日	年　月　日	育休復帰(予定)日　年　月　日
	勤務形態	常勤・パート・その他(　　)	職種
	勤務先名		電話番号
	勤務場所		
	勤務時間	(平日)　時　分から　時　分まで	
		(土曜)　時　分から　時　分まで・全休・その他(　　)	
	給与(賃金)	月給(本給　円)・日給(1日　円)・時間給(1時間　円)・歩合給	
		直近2カ月の給与額	平成　年　月分　円
			平成　年　月分　円
自営業	事業所所在地	自宅と同一敷地内・その他(　　)	
	業種		
	自営業に従事する家族氏名	児童との続柄	月平均従事日数　従事時間
			日　時　分～　時　分
			日　時　分～　時　分
			日　時　分～　時　分
			日　時　分～　時　分
出産・疾病・看護	傷病名		
	病状及び看護の必要の有無		
	通院・入院の期間	通院　週　回	入院　年　月　日から約　カ月
	妊娠	出産(予定)日	平成　年　月　日
内職	内職の内容(内職開始(予定)年月日	年　月　日	仕事場(自宅・その他(　　))
	1カ月の平均収入	月平均　円(単額　円で1日に仕上げる平均数量　ケ)	
	仕事の時間・日数	1日平均　時間で1カ月平均　日就労	
	直近2カ月の給与額	平成　年　月分　円	
		平成　年　月分　円	

証明欄（雇用主・事業主・医師・発注先が証明）　平成　年　月　日

所在地
名称・代表者名　印
電話

『入所理由証明及び申告書』

来年度保育所入所受付始まります

受付場所　つばさ共同保育園　事務室

12月3日（月）午前8：30～午後6：15
12月4日（火）午前8：30～午後6：15
12月5日（水）午前8：30～午後6：15
12月6日（木）午前8：30～午後6：15
12月7日（金）午前8：30～午後6：15
12月8日（土）午前8：30～午後5：00※

※受付が12/8（土）になる方はあらかじめ事務室までお知らせください。

◎必ず印鑑をお持ちください。

◎簡単な聞き取りがあり書類の提出だけでは受付できませんので時間には余裕を持ってお越しください。

◎『入所理由証明及び申告書』（就労証明）が受付日に間に合わない時は、『保育所入所継続申立書』だけでも受付が可能です。

◎受付期間内より申し込みが遅くなった場合は、入所優先順位が下がりますので、ご注意ください。

１１月１日　読売新聞につばさの実践が掲載されました。

市原悟子

読売新聞の教育ルネサンス取材班の人から「いじめ」に関する動きを追う新連載を予定している。東京の中学校、小学校の先生たちにインタビューをしていくと「子ども同士に人間関係をうまく築く能力が低い。幼少期にケンカはダメ、仲よくしなさいなど大人が先回りしすぎて友達と意見が違ったときどうしていいかわからない子どもが多くなっている。幼児期の体験が大切では」という声を多く聞いた。以前、子どものケガを避けようと危険を取り除きすぎたら危険を予知できない子どもが育った・・・という流れと似ていると自分は感じた。幼少期に人間関係を育むことに力を入れている保育園や幼稚園はないかと保育関係者に聞くと多数の人が関西の「アトム共同保育園」と言うので驚いた。是非取材したいとの申し込みがあり１０月１２日記者が来園しました。自分も２人の子どもを育てているので保育園の実践にはとても興味があると２時間ほどのインタビューで子ども体験の何が大切かを話し意気投合しました。記事を読んで人間関係づくりの努力は一生続くもので幼児期の体験が決定的とも思えないし、イジメの予防という発想がおかしいと私は感じたので早速記者さんには感想を伝えました。

６ページに新聞をプリントしていますので是非読んでみなさんの感想を聞かせて下さい。

「げんき保育園」（高松）に研修に行ってきました。

１１月２４日（土曜日）アトム共同保育園の職員６名、つばさ共同保育園の職員７名の計１３名が高松にある民間保育園「げんき保育園」に見学研修に行ってきました。

職員研修は①熊取町の公立、民間保育士が行う年齢別部会研修（年３～４回）②大阪府主催の研修（随時）③大阪保育を考える集会　④全国保育合同研究集会　⑤各自参加したい研修などを行っています。今回アトム職員と合同で他園見学に行ったのは初めてです。

「げんき保育園」との縁は１０数年前にさかのぼります。高松で講演をしたとき、当時保育園のあり方を模索していた田中先生との出会いがスタートでした。アトム共同保育所の実践の講演内容にとても興味をもたれ、その後アトムへ何度か見学に来られました。合同職員会議をしたこともあります。とてもパワフルな田中先生です。

紆余曲折を経て２０１１年２月に「げんき保育園」を設立しました。

＊ホームページを参照して下さい。

私は「げんき保育園」の設立記念行事にも出席し、今年の夏の園内職員研修にも呼ばれました。「高松にもアトムのような保育園を作りたい」と言っていた田中先生でしたが数年前とは大きく違う職員の雰囲気にアトムを超えている！と圧倒されました。

つばさにも今年、多くの見学者や実習生が来ました。外部の人達との交流で新たなものが生まれることを実感していますが、自分たちが積極的に他に行くことも重要だと思い無理なお願いをして見学研修を引き受けていただきました。

是非今後に生かせていきたいと思っています。次ページは職員の感想です。

げんき保育園研修感想

まず、げんき保育園の第一印象は、とにかく職員が前向きで元気ということでした。園の名称通り“元気はつらつ”パワーがみなぎっていました。　げんき保育園の園長先生は、「そのパワーは、かつてアトム共同保育園に何度か見学に来たときにもらったパワーです。」と言っておられましたが、その前向きなパワーをひしひしと感じながら、今の自分はどうなのか。つばさ・アトムの職員の意識は前向きになんだろうか・・。と問い返している自分がいました。その自分に対する問いかけは、とても大事なことと受け止め、帰ってきた今も、私の胸の中で問い続けています。

今回の見学研修で、保育園という垣根を取り払って、そのままの自分の思いを語り合えるチャンスをもらえたことに感謝し、自分も、垣根なく語り合えるそういう関係作りをしていきたいと思いました。　仲嶺　真弓

元気保育園見学研修に参加して　川田幸子

元気保育園は田畑や川、池があり自然に囲まれてとてものどかな場所にありました。園長先生や職員の皆さんが出迎えてくれて、まずは園内を見学し、昼食をごちそうになりました。その後の会議の中で私は元気野菜づくりに興味を持ちました。子ども達と一緒に米ぬかを入れ生ゴミをリサイクルし、土作りから手をかけています。季節に応じてトマト.スイカ.秋ナスなど一味違うとても美味しい野菜が出来るそうです。育てる→収穫→食べる　といった一連の流れを子ども達が体験(水やり.草抜き)をする事によって楽しさや喜びを感じまた、野菜そのものの味が分かるのでつばさでも進めて行きたいです。　また質問に答えていただいた一部として

(質)・給食で大事にしていることは？　(解)・だしの味を生かして薄味に心かけているそうです。

(質)・普通.アレルギー食が並んで展示されている理由は？　(解)・保護者からの要望で展示するようになった。

この研修に参加させてもらいたくさんの事を学ばさせてもらいました。

元気保育園というだけあって、園長先生や保育士の方全員が声も大きくハキハキとしていて、すばやく動き活気のある園だなと思いました。保育室は明るく、食事ではエプロンを変える、鼻など拭いた物はふた付きのゴミ箱へ捨てる、衛生面では徹底して行うなど、その園でのやり方の違いなど知ることが出来ました。また保護者の方に１日保育を見学してもらう日を作る（１日１家庭のみ）取り組みを行っていて、子どもの姿や園の事を知ってもらうやり方で、やってみて良いと言う話も聞けました。見学へ行き、つばさで何を生かせらえるか！を考えられればと思いました。保護者とのやりとりや、行事の準備、研修のやり方など、他園ではどうしているのか？色々な話を聞くことが出来たり、「ピンチはチャンス！」という前向きに考えていく姿勢が表れていました。きっとしんどい事もあるのだろうけど、明るく前を向いて進んでいる、自分達との違いみたいな物を感じ、元気やパワーをもらいました。また次回は悩みやしんどい話など聞ければと思いました。（川中）

私は実習としていくつかの保育園に行った事はありましたが、つばさで働くようになってから他園に行くのは初めてで、「どんな保育園なんだろう？」「つばさとはどんな所が違うのかな？」など、ドキドキワクワクしていました。私が１番驚いたのは、職員の方々が保育園の名前通り、元気いっぱいな所です。みんなとてもいきいきとお仕事をされていて、笑顔で溢れているのを見て、私ももっとポジティブに楽しく保育をする事を心がけようと思いました。また、保育室の見学もさせてもらったのですが、手作りの可愛いおもちゃが多く、見ているだけで楽しくなるような物ばかりでした。今までなかなかおもちゃを作れていなかったのですが、見学の中でたくさんのアイデアを頂いたので、少しずつでも作っていけたらいいなと思っています。今回は実際の保育の現場に行く研修だったからこそ知れた事がたくさんありました。この研修で学んだ事をつばさでのこれからの保育に活かしていきたいと思います。

高木 雅

げんき保育園の職員は、みんな名前の通り元気いっぱいでした。その元気のもとは「自分はこうありたい！」と願う一人一人の意識でした。保育士という仕事は、命を預かるという責任の重さに対してや、自分の無力さに対して、自分を責め、辛くなってしまうことがあります。そんな時にまた立ち上がれる力は、仲間や、保護者の方などまわりの励まし、そして、そんな自分自身の意識だと思うのです。げんき保育園での合同職員会議で、ピンチをチャンスに変える前向き思考、失敗から学ぶ…など、意識を変えるヒントをたくさんもらいました。
長時間のバスは辛かった～でも気持ちは…行かせてもらって良かった！でした。
当日は、保育協力いただきありがとうございました。多くの職員で研修できるこのような機会がまた持てるとうれしいです。

（上野由美子）

保育のとりくみや体験の面で気を付けている事など、参考になることがたくさんありました。そして給食がとてもおいしい！つばさと同じ優しい味がしました。合同の職員会議では職員の前向きさや、楽しんでとりくみや行事をすることへの意識がとても感じられました。その思いの土台は子どもの育ちを考えたとき、何が大切なのかを一番に考えていることにあり、誰の為の取り組みか？どんな思いで仕事をしたいのか？と自分の仕事に対する姿勢を見つめなおす機会や、パワーをたくさんもらえ、自分の働く場だけでなく他の場や、いろんな人の意見を聞くことの大切さを感じた研修でした。

大野京子

元気保育園を見学させてもらい、おいしい給食を食べさせてもらって、会議では、いろんな質問に答えてくださり、なんだかとても温かいものを感じました。
"人"としてどうありたいか？それぞれにしっかりしたものがあって、それを実践している。みんなが前を向いて歩いている。それこそピンチはチャンスなのだと言っていたことを肝に命じながら、自分1人じゃない、みんながいてると思えることが、パワーになっているのだなと思いました。ときどプラス思考に思えて、マイナス思考の自分は、へこむ部分もありましたが、今回初めての見学で、質問ばかりになったので、しんどかったことも大変だったことなど、お互いにだしあいながら、対話ができたらいいなあ、これからもつながっていけたらいいなと思いました。（上原峰子）

げんき保育園研修風景 11/24（土）

アトム共同保育園朝７時出発

香川県高松市六条町までバスでレッツゴー！

保育室の様子

げんき保育園
アトム共同保育園
つばさ共同保育園合同会議

熱心に意見交換
何でも学んで帰るぞ～

げんき保育園の職員みなさんで
お見送りしてくれました。
バスからさようなら、そしてありがとう。

読売新聞掲載

園庭で、きりん組（4歳児）の子どもたちが遊んでいた。キックスケーターを乗り回す大柄な康一君（仮名）に、何度も「貸して」と食い下がり、そのたびに突き飛ばされるのは細身の俊太郎君（同）だ。やっと譲ってもらい、満面の笑みで走り出すと、見守っていた男性保育士(31)が「良かったなぁ」と声をかけ、康一君には「貸してあげたんや」と頭をなでた。

大阪府熊取町のつばさ共同保育園では、園児のけんかをできるだけ見守るのが保育方針だ。市原悟子園長(59)は「けんかやぶつかり合いは成長のチャンス。大人が『そろそろ交代ね』と間に入ると、守られる側とたしなめられる側になり、子どもの人間関係がおかしくなる」と解説した。

No.1685 教育ルネサンス いじめと向き合う 9

幼児 けんかで成長

この保育方針は、姉妹園のアトム共同保育園が1994年、いじめや少年犯罪の事件が相次いだため、保護者と考えて決めたものを受け継いだ。両園の理事長でもある市原園長は「幼児期に人間関係に悩む体験をすることが重要だ。問題を起こす子どもには、こうした体験が抜け落ちていると感じた」と振り返る。

三輪車の取り合いをする園児。多少のことでは保育士は手を出さない（10月12日、つばさ共同保育園で）

メモ　共同保育園とは、保護者と保育士が協力して運営する保育園のこと。保育園が不足した1960～70年代に、保護者が資金を出し合って保育士を雇う形で始まったケースが多く、当時はほとんどが「無認可園」だった。その後「認可園」になったところもある。現在でも父母会活動が盛んで、保護者の意見が園の運営方針に積極的に反映されている。

気の済むまでやらせて考えさせたり、お互いの気持ちが分かるまで2人きりで話し合わせたり、手探りの連続だった。「仲良くしたいのにたたいてしまう」「本当は一緒に遊びたい」。園児の悩みに耳を傾ける様子がメディアで紹介されると、全国の保育関係者が見学に来るようになった。

子どもがもめ事を起こす理由は、大人が考えたのとまったく違うことが少なくない。

ある時期、そう組（5歳児）で、遊びの輪に入ろうとした麻里ちゃん（仮名）が、断られて泣き出すことが増えていた。大野京子保育士(34)が「なんでいやなの？」と促すと、麻里ちゃんは「断られるより、みんなに一斉に言われるのが悲しい」と話し始めた。

女の子たちは、涙の理由を知って神妙な表情になり、「これからは1人ずつ話すようにするね」と約束。以後、言葉に気遣いが生まれ、トラブルは減っていった。「入れてあげなさいと叱ったのでは、同じようなけんかを繰り返したでしょう」と大野保育士は説明する。

市原園長は強調する。

「互いの気持ちが分かればいじめに発展することはない。いじめ予防は幼児期に始まっているのです」

（大広悠子、写真も）

◇

次回から予防に向けた取り組みを紹介する。